

令和6年度新技術を活かした森林作業システム 高度技能者育成事業のご案内

1. 事業の概要

本事業では、**育成研修**と**指導者研修**を実施します。

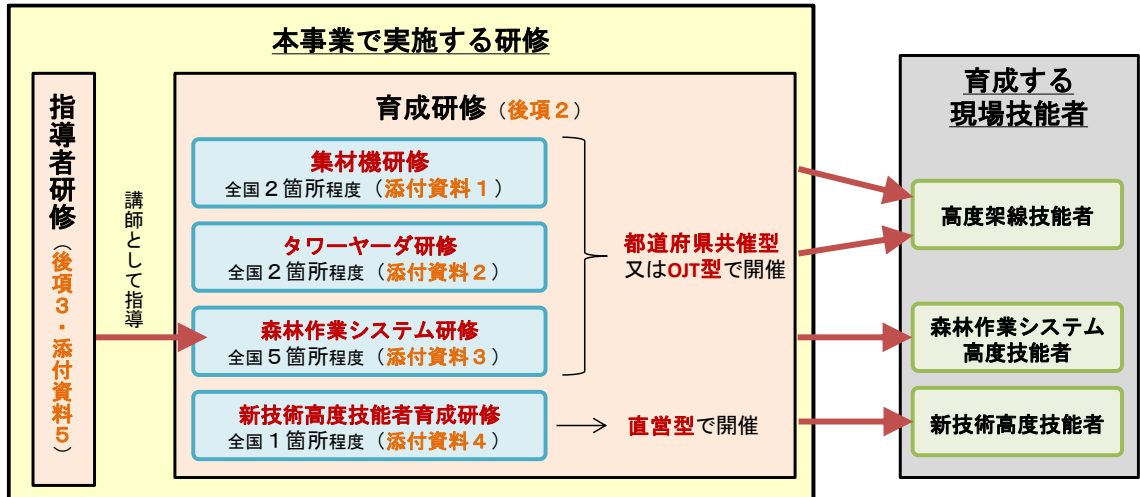


図 実施する研修と育成する現場技能者の役割

本事業の目的は、低コストで高効率な作業システムを構築し、安全性と生産性を向上する高度な現場技能者（**高度架線技能者**、**森林作業システム高度技能者**及び**新技術高度技能者**）の育成になります。

育成する現場技能者は、森林施業の実行主体となる者で、森林施業における安全性と生産性を向上させるだけではなく、森林経営の主体と協力して、森林施業の現場から地域特性に応じた森林作業システムやその改善点を提案していくことが求められます。

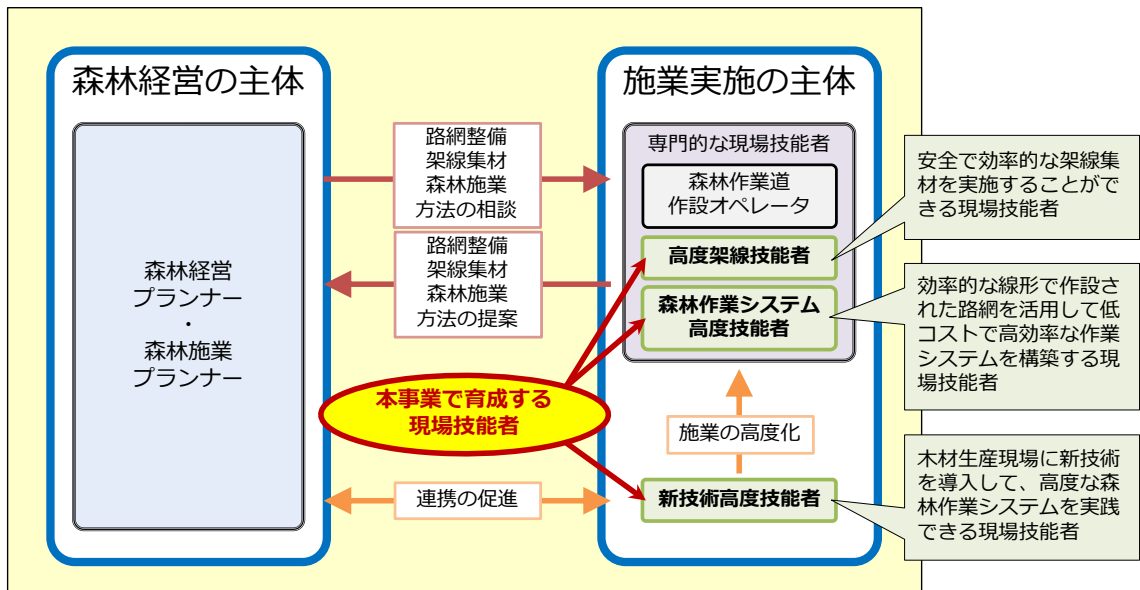


図 育成する現場技能者の役割

2. 育成研修

集材機研修、タワーヤード研修及び森林作業システム研修は、**都道府県共催型**（都道府県と共同開催）と **OJT型**（林業経営体が職場内研修として開催）で実施します。

新技術高度技能者育成研修は、都道府県に開催要望を確認して**直営型**で実施します。

表 育成研修の実施形態

実施形態	内容
都道府県共催型	<ul style="list-style-type: none">✓ 都道府県が計画し、当協会と共催で実施する研修です。✓ 都道府県が受講生を公募します。✓ 研修の実施にあたっては、県等が負担する経費はありません。
職場内研修支援型 (OJT型)	<ul style="list-style-type: none">✓ 林業経営体が個別に企画し、受講する研修です。✓ 研修会場はそれぞれの研修実施希望者に確保していただきます。✓ 当協会が講師の派遣や必要な経費負担等の支援を行います。
直営型	<ul style="list-style-type: none">✓ 当協会の担当者が関係者と調整を図りながら実施する研修です。

3. 指導者研修

森林作業システム研修を幅広く普及するとともに、効果的・効率的な研修を実施するために、研修の講師となり得る者を対象とした指導者研修（**2日間**）を実施します。

指導者研修の参加者には、旅費・宿泊費等を支給します。

開催場所：岡山県（予定）

開催時期：令和6年9月～10月頃（予定）

☑ 熟練技能者の紹介について(行政担当者様へのお願い)

指導者研修の参加候補者となり得る森林作業システムの熟練技能者（現場技能者）の紹介をお願いします。

このお願いは、**全国の森林作業システムの熟練技能者の把握を目的**としています。

紹介いただいた熟練技能者は、簡単なアンケートを送付するとともに、森林作業システム研修を実施する際には、講師として助言等をお願いしたいと考えています。

育成研修の要望が無い場合にも、ご紹介いただければ助かります。

表 森林作業システム研修の講師選定要件

- 実際の現場における森林施業の経験を有する者（概ね7年以上）
- 所属する事業体における現状の森林作業システムを把握している者
- 経営体等で指導的立場にある者